

1 平成31年度の予算編成にあたっての重点施策等について

- (1) 平成31年度の国及び本市の景気見通しについて、市長の見解を伺う。
- (2) 来年10月からの消費税率の引上げにあたり、平成31年度当初予算への影響について伺う。
- (3) 平成31年度の市税、特に、個人市民税・法人市民税の見込みについて、数値も含め、伺う。
- (4) 平成31年度における財政指標（経常収支比率、実質公債費比率、将来負担比率）の目標値について、伺う。
- (5) 平成31年度における起債額及び起債残高の見通しについて、伺う。
- (6) 平成31年度に予定する、重点事業について、財源措置等も含め、その内容について、伺う。

2 防災・減災対策について

- (1) 今年の本市を含め、全国の被災地での被害事例で浮かび上がった、本市の防災・減災上の課題・問題点と対応策について、伺う。
- (2) 津波防潮堤建設の現状と今後の見通しについて
 - ① 防潮堤の強度について、伺う。これは、平成26年9月議会において、防潮堤については1対3の勾配の盛土で、地震で崩れないと思う、現場の状況を見ながら、今後、検討していく、力学的な根拠はないとの答弁であったが、その後の検証状況について、伺うものである。
 - ② 当初、防潮堤の整備は、建設期間20年、工事費30億円の見込みであると説明しているが、現時点における期間、工事費の見込みについて、伺う。
 - ③ これまで、保安林解除が大きな障害となっていると説明しているが、国・県への働きかけの状況、市長の具体的な働きかけ、また、その経過・結果について、具体的な状況も含め、伺う。

3 中遠広域事務組合の一般廃棄物最終処分場の建設について

- (1) 平成35年1月の稼働に向けて、現在の進捗状況について、本年9月議会での質問に対し、厳しい状況との説明があったが、具体的に、何が厳しいのか、伺う。
- (2) 最終処分場の建設には、昭和年代からの長い歴史があるが、本市が担う建設への今までの経過について、市町村合併前の磐南行政組合も含め、改めて、その経過認識について、伺う。
- (3) 一宮の現最終処分場は埋立期間を6年間延長し、平成34年12月までとされているが、今後の見通しと本市への影響について、伺う。
- (4) 最終処分場の建設に向けての市長の具体的な取り組みについて、伺う。
- (5) 平成35年1月の稼働に向けて、今後のスケジュール、具体的な行程について、伺う。